

HOT INFORMATION

ほっといんぷおめーしょん

1 レッサーパンダに 三つ子の赤ちゃん誕生

昨年に引き続き、今年も繁殖に成功したレッサーパンダ。7月7日に生まれた三つ子の赤ちゃんはまるでぬいぐるみの様。春には親と同じくらい大きくなり、見分けがつかないほどに。小さく可愛いらしい姿が見られるのは今だけ。さあ動物園に急げ！

3 4 長寿おめでとう

動物園で長年飼育しているフタコブラクダの田田(テンテン=メス)とニホンイヌワシの鳥海(ちょうかい=オス)が(財)日本愛玩動物協会から功労動物として表彰された。田田は1982年に中国蘭州市より友好親善動物としてオスの蘭泉(ランセン:今年5/2死亡)とともに4才で来園。以来12頭の仔を出産しその子孫たちは全国の動物園で飼育されている。現在の年齢は27歳、人間に例えると80歳以上。[写真:蘭泉(左)田田(右)]

鳥海は1970年に鳥海山麓で保護されて以来、国内最長寿を誇るとともに人工授精にも貢献し、飼育下での自然繁殖成功の足がかりをつくった。現在の年齢は35歳以上、人間に例えると100歳ほど。

2 プレーリードックが目の前に！

展示場から突き出たトンネル、そしてその先に設置されたケージ。最近考案されたプレーリードックの「はらぺこハウス」。お腹をすかせたプレーリードックが、エサにありつこうとお客さんの目の前までやってくる。人気スポット！！

5 6 サマーナイトZoo 夜の動物園

8月12日～15日に開催された夜の動物園。去年までの2日間から今年は4日間に変更され、前半は雨にたたられたが約12,000人の入園者が訪れた。暗闇にライトアップされた幻想的な景色や普段見ることができない夜の動物たちの行動、また「まんまタイム」や「エサやり体験」などのイベントを大勢の入園者が楽しんだ。

研修レポート

夏休み期間中、動物園で研修を受けた先生達から感想をいただきました。

■秋田市立土崎南小学校 小武海 由紀子 先生

3日間の研修を通し、動物園では職員一人一人が多くの仕事を持ち、お互いに助け合って一生懸命に働いておられること、また、わが子のように愛情を持って動物に接していることなどがよく分かりました。お世話になった飼育係の方のように、自分も何事にもベストを尽くして取り組み、子供達のために頑張りたいと強く思いました。大変有意義で充実した研修でした。

■秋田市御野場中学校 渡辺 陽子 先生

研修を終えた今、思い出されることは、肉体的なつらさよりも動物たちの愛らしさや園内で瞳を輝かせながら見学している来園者の姿です。この2つを支えているのは、職員の方々の仕事に対する真摯な姿勢と動物に対する愛情に他ならないと思います。物言わぬ動物に無償の愛情を注ぐ職員の方々の姿は、私達教師のあるべき姿だと痛感しました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

■秋田市立御所野学院中学校 那珂 千波 先生

動物園では理科学習において重要な、自然や生命の概念に触れることができます。「食べるために動く」、「生きるために食べ、排泄する」動物の生命の営みによる直接体験の力の大きさを実感した研修でした。「まんまタイム」などの企画は、動物の命をつなぐ「食」の姿に直面する貴重な学びの場であると感じました。また、ホームページ上の動画などの充実により、動物の行動や特徴を学校でも伝えることができる、新たな可能性を感じました。

■秋田市立山王中学校 佐藤 未樹 先生

動物の世話ができたらどんなに楽しいだろうと単純な動機で研修先に決めた。3日間の研修で、それぞれの場面で得るものがあつたが、1番楽しかったのはふれあい広場での動物たちの寝床の掃除だった。可愛い動物たちが無心に食べては無心に出す大量の排泄物。冷静に処理していく飼育員の方に息の長い愛情の形を見ることができた。感謝。

■男鹿市立鶴木小学校 大久保 武彦 先生

普段檻の外でしか見ることでできなかった動物と間近に接することができ、数々の驚きや発見があつた。また、飼育係の方々の我が子のように愛情をもって飼育している姿に深い感動を覚えた。この貴重な体験を今後の教育活動に生かすとともに、動物に愛情をもてる子どもにしていきたい。